

大切にす視点



視点2：賢く使おう！

- 今あるものを活かそう
- 新しい発想で有効活用しよう
- 無理・無駄を省いて効率よく使おう

視点4：みんなでやろう！

- みんなで考えよう
- 自分達でできることは自分達でやろう
- 市民力を発揮しよう

視点1：未来志向で考えよう！

- 20年後の将来に向けて、ワクワク感を持って進めよう
- 子や孫世代のため、スピード感を持って進めよう
- 優先度の高いことから積極的に取り組もう

視点3：共感を大事にしよう！

- 状況を知ろう、知ってもらおう
- 意識や考え方を共有する対話の場を設けよう
- みんなの知識、やる気を引き出す進め方をしよう

視点5：まちづくりを考えよう！

- 牧之原市にあったまちの姿を目指そう
- みんなでまちのデザインを共有しよう
- まちへのみんなの想いを大切にしよう

先導的な施設

施設分類別の方向性の中でも、まちづくりの視点で横断的、重点的に取り組む施設

- ①庁舎施設の活用プロジェクト
庁舎施設を活用して、にぎわいと新たな人の流れを生む、交流の拠点施設をつくる
- ②学校施設の活用プロジェクト
市民活動や文化活動により、市民間の交流を促進する拠点施設をつくる

施設分類の方向性

大切にす視点を基に方向性を検討

- ①行政・文化施設
庁舎や史料館、図書館など
- ②学校・体育・子育て施設
小中学校や社会体育施設、保育園など
- ③コミュニティ・公園施設
コミュニティ施設や公民館、公園など
- ④保健福祉・観光産業施設
高齢者福祉施設や観光施設など

自治基本条例推進会議による審議

対話の場へ出た意見を基に自治基本条例推進会議の中で更に内容を話し合いました。委員からは、「対話の場の意見を尊重したい」「施設だけでなく、事業や組織の面から考えることも必要」などの意見もあり、推進会議として考え方をまとめました。

この内容については2月28日、坂部区民センターで対話の場の参加者などに報告を行うとともに、その場の意見を確認しました。推進会議は、これらの意見を含めて方向性を整理し、平成27年度末に市長に対して答申を行います。市ではその内容を基に、公共施設の今後20年間の方向性を示した計画を策定します。



自治基本条例推進会議のメンバーから対話の場の参加者に検討内容を報告



▲公園施設



▲対話の場で意見を交わす参加者

←学校施設

このまちの未来に向けて

～対話と協働で進める公共施設を生かした豊かなまちづくり～

公共施設マネジメントの取り組み背景

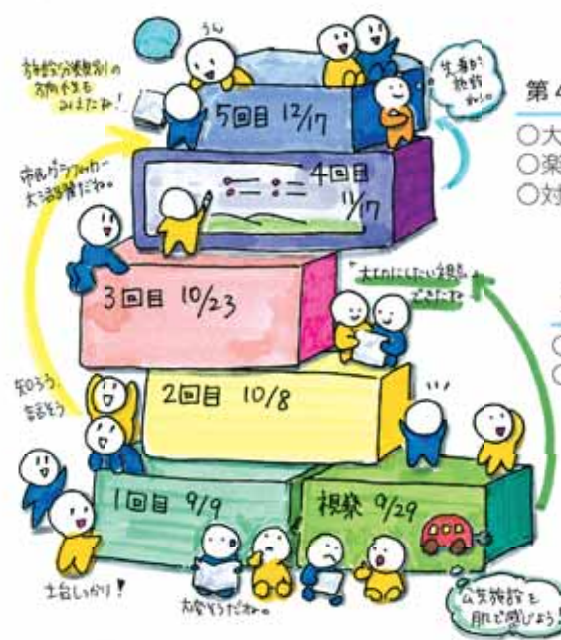
市の公共施設は、昭和40年代から60年代にかけて建設されたものが多く、今後一斉に改修や更新の時期を迎えます。それに伴い、1年当たりの施設の維持管理経費が、今より2・6倍に増えることが予測され、このままでは今ある施設を安全に保つことが難しくなります。しかし、何の工夫もなく、単純に施設を廃止してしまっただけではいかぬか。そこで、市では公共施設の管理費の低減や豊かで質の高い使い方について、市民の皆さんとの対話により、一緒に学び、気づき、共感をしながら考えていくことにしました。

対話の場の開催

市長から諮問を受けた自治基本条例推進会議は、多様な市民が意見を交わす「対話の

牧之原公共施設マネジメント 対話の場の流れ

2015.9.9～12.17



③つなげる・まとめる

第4回会議（11月17日）と第5回会議（12月17日）

- 大切にす視点、施設分類別の方向性のまとめ
- 楽しい横断的な活用のアイデア
- 対話の場に参加して感じたこと、気付いたこと

②深める・共感する

第2回会議（10月8日）と第3回会議（10月23日）

- 大切にす視点
- 施設分類別のありたい姿、現実とのギャップ

①知る・学ぶ

第1回会議（9月9日）と現地視察（9月29日）

- 公共施設への想い、市の説明を聞いた感想の共有
- 賢く使うポイントになる施設の現地確認

第2次牧之原市総合計画の重点プロジェクトの一つ「公共施設最適化プロジェクト」については、本年度多くの市民が関わり、今後の20年間の方向性を話し合ってきました。その経緯と内容についてお知らせします。問い合わせ 地域創生課 本間 ☎(23)0053